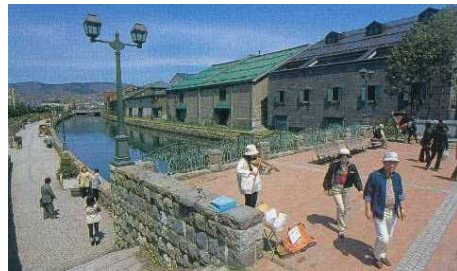




# 施策の方向性(案) ～空間形成～

---

国土交通省 港湾局  
平成28年11月

- 社会の成熟化等に伴い、みなとに豊かな生活空間を求めるなどの要請の高まりと歩調を合わせ、民間活力等を活用しながら、総合的な港湾空間の形成を図ってきた。
- 最近では、港湾整備事業の選択と集中が進む中で、緑地等の環境施設や歴史的港湾施設への投資が減少してきている。

年代	港湾空間の形成に関する政策	参考
1980	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歴史的港湾環境創造事業の創設</li> <li>○港湾の長期政策「21世紀への港湾」を策定 →「物流」、「産業」に生活を加えた総合的な港湾空間形成を打ち出し</li> <li>○民間事業者の能力の活用による特定施設の整備の促進に関する臨時措置法(民活法)に基づく交流拠点等の形成</li> <li>○マリンタウンプロジェクト、ポータルネッサンス調査に基づき面的計画策定</li> <li>○民間都市開発の推進に関する特別措置法(民都法)に基づく拠点整備</li> <li>○総合保養地域整備法(リゾート法)によるリゾート開発を推進</li> </ul>	 <p>歴史的港湾環境創造事業 例：北海道 小樽運河</p>
1990	<ul style="list-style-type: none"> <li>○港湾景観形成モデル事業の推進</li> <li>○市民が海に近づけるよう、海岸沿いの遊歩道等の形成を通じたパブリックアクセスの確保</li> </ul>	 <p>民都法に基づく拠点整備 例：福岡県 門司港</p>
2000	<ul style="list-style-type: none"> <li>○景観法</li> </ul>	 <p>港湾景観形成モデル事業 例：青森県 青森港</p>

# 海からの視点を考慮した景観の形成

○横浜港では、かつて港の玄関口に立地していた税関跡に倉庫が建ち、海からの視点が阻害されていたが、倉庫の撤去に合わせて再開発を行い、港口から公園まで一直線に見通せる景観が形成された。



出典：横浜市HP、神奈川新聞(2008/04/12)



出典：「横浜・都市と建築の100年(平成元年)」横浜市

- 色彩や港湾背後の建築物の高さに留意し、海域を航行する船上から見て美しく感じられる港湾の景観を形成することが望ましい。
- 港内においても、クルーズ船を見渡せる場所にカフェ、遊歩道、ショッピングモール等を整備することにより、船や海、都市を見渡せる空間を形成することが望ましい。

## 【船上から観て美しい景観が形成されている事例】



地区ごとに色彩を対比させることで、低層の街並みを引き立てている事例  
(横浜港)



高さの揃ったスカイラインが海上から見て美しい景観を形成している事例  
(ニューヨーク/米国)

## 【港内に船、海、都市を見渡せる空間が形成されている事例】



船や海、都市を一体的に望むことのできるオープンカフェ  
(シドニー港/オーストラリア)



旅客船ターミナルの背後に建つショッピングモール  
(神戸港)

○港やみなとまちの歩んできた歴史や育んできた文化を伝えるための「みなとの博物館」の活用や港の歴史や文化を活用した観光振興への取組が求められる。

## 【みなとの博物館ネットワークフォーラム】

1	苫小牧ポートミュージアム	27	海とくらしの史料館
2	あおもり北のまほろば歴史館(※)	28	呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム)
3	青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸	29	瀬戸内海歴史民俗資料館
4	山形県酒田海洋センター	30	琴平海洋博物館(海の科学館)
5	“海の家”たてやま(館山市立博物館分館)	31	開門海峡ミュージアム
6	東京みなと館 (一時閉館中)	32	わかちく史料館
7	船の科学館	33	博多港くイイミュージアム博多ポーター
8	物流博物館	34	新上五島町鯨資館ミュージアム
9	(公財)日本海事センター海事図書館	35	南島原市ロ之津歴史民族資料館
10	東京海洋大学明治丸海事ミュージアム*	正会員 33 館 特別会員*2 館	
11	横浜みなと博物館	(※) 2015年入会受付	
12	日本郵船歴史博物館		
13	新潟市歴史博物館『みなとびあ』		
14	日本海交流センター		
15	七尾フィッシャーメンズ・ワーフ		
16	石川県銭屋五兵衛記念館		
17	みくに龍翔館		
18	道の駅「開国下田みなと」		
19	フェルケール博物館		
20	名古屋海洋博物館		
21	うみでらす14		
22	海の博物館(※)		
23	貝塚市立自然遊学館		
24	神戸海洋博物館		
25	神戸大学海事科学部海事博物館		
26	神戸築港資料館(ピアレックす)*		

加盟博物館一覧  
(平成28年10月末現在)

※「みなとの博物館ネットワークフォーラム」ウェブページより港湾局作成

## 【みなとの歴史を体験できる港内クルーズ】

### 横浜港



AR(拡張空間技術)を活用して、横浜港の過去と現在を同時に体験できる港内クルーズ

出典：「赤レンガ倉庫 横浜クルーズ」(株)KMCコーポレーションウェブサイト  
[www.reservedcruise.com/](http://www.reservedcruise.com/)

### 横須賀港



軍港として発展してきた横須賀港を周遊する港内クルーズ

出典：「YOKOSUKA 軍港めぐり」(株)トライアングルパンフレット

## 【課題】

市民に身近な親水空間として、美しく快適な港湾空間を形成し、クルーズ客も含め、さらに多くの訪問客を取り込んでいくためには、以下の課題がある。

- 市民に親水空間を提供するとともに、観光客を呼び込んでいけるような美しいみなとづくりが必要
- クルーズ船の大型化に伴い、岸壁は沖合にシフトせざるを得ないが、本来は賑やかでアクセスが良い内港地区が望ましい
- 市民が港に集い、気軽にかつ安全に楽しめるような空間形成、仕組みづくりが必要



### ①海からの視点も考慮した景観形成や歩行者空間の充実等を通じた快適な空間形成

歴史的港湾施設、自然、ランドマーク等を活用した、「陸からの視点」のみならず、クルーズ客等の「海からの視点」も考慮した景観形成や歩きやすい歩行者空間を充実させる必要がある。

### ②老朽化した埠頭の埋立や民間資金も活用した内港地区等の再開発の推進

港湾施設の多目的利用の促進や民間資金活用により、賑わいのある水辺空間を創出していく必要がある。

### ③みなとオアシス等や港湾協力団体等を活用した港湾の多目的利用

みなとオアシスをクルーズ客接遇や防災拠点等、「港のよろず集会場、憩いの場」として、さらに柔軟かつ多目的に活用できるようにする。また、緑地や防波堤、老朽化した岸壁等を市民の安全を確保した上で、より弾力的・多目的に利用できるようにしていく必要がある。